

令和5年度景観研修実施要領 ※共催

- 目的 実務者に必要な景観に関する基礎的な知識の習得を図る。
- 受講対象者 建設業及び測量設計業、造園業に従事する民間の技術者
※受講対象者以外の方でも受講できますが、研修内容が専門的であることを申し添えます。
- 募集人員 15人
※公平性を考慮し、原則として**1社あたり2名様まで**の受付とします。
※定員を超える申込みがあった場合は締切前に募集を終了させていただきますので御了承ください。
- 研修期間 令和5年9月5日(火) 1日間
- 場所 みやざきNPO 協働支援センター 会議室(宮崎駅敷地 KITENビル内(宮崎市錦町1-10))
- 講義内容 2ページ目参照
- 申込方法 宮崎県建設技術推進機構ホームページの、研修事業・案内 → 研修案内 を御覧いただき、その下に記載の 令和5年度研修計画 → 1. 一般研修 → 景観研修 → 申込み(フォーム)にてお申込みください。

※お申込み後、「研修のお申し込みメール(受講票)」が届きます。15分後までに届かない場合は御連絡ください。
「研修のお申し込みメール(受講票)」は印刷されまして、受付時に御提示ください。
※業務の都合等で受講できない場合は代わりの方が受講しても構いませんが、必ず事前に御連絡ください。

- 申込締切 令和5年8月24日(木)

■研修経費及び納入方法、納入期限

(1)研修経費 **一人当たり 3,000円** ※昼食代は含みません。昼食は各自ご準備ください。

(2)納入方法 銀行振込のみ (振込手数料は各自御負担ください。)

・「ご依頼人」の欄に、「ケ」(景観研修の略)と「受講番号」(推進機構からのメールに記載)を御記入ください。

(記入例) 会社名が推進建設(株)、受講番号が130番の場合

ケ130スイシンケンセツ(カ …フリガナの欄

ケ130推進建設(株) …おなまえの欄

※ネットバンキング等で、左記のように
できない場合は、会社名だけで結構です。

・振込先 宮崎銀行 県庁支店 普通 1479834

公益財団法人宮崎県建設技術推進機構
ザイ)ミヤザキケンケンセツギジュツスイシンキコウ

(3)納入期限 令和5年8月28日(月)まで

■申込の取消し・返金について

(1)返金可 ①令和5年8月28日(月)までの取消し

受講料から振込手数料を除いた額を返金

(2)返金不可 ②令和5年8月29日(火)以降の取消し

返金できません(ただし、テキストを郵送します)

■申込先及び問合せ先

(公財)宮崎県建設技術推進機構 土木課 企画研修システム担当

〒880-0803 宮崎市旭1丁目2番2号 企業局庁舎5階

TEL 0985-20-1830

メールアドレス mks-25@mk-suishin.or.jp

ホームページ <https://www.mk-suishin.or.jp>

※宮崎県建設技術センターへのお問合せはご遠慮ください。

- 持参品 受講票(研修のお申し込みメールを印刷したもの)、筆記用具、デジタルカメラ、三角定規、三角スケール

- 受付日時 令和5年9月5日(火) 9時00分～9時25分(みやざきNPO 協働支援センター 会議室)

※本研修は、(一社)建設コンサルタンツ協会継続学習(CPD)、(一社)宮崎県建築士会CPD制度(建築CPD)、
測量系CPD協議会継続教育(測量CPD)のプログラム認定を申請予定です。

令和5年度景観研修概要 ※共催

【概要】※日時、予定人員、内容等は変更となる場合がございます。

期 間	令和5年9月5日(火) 1日間					
場 所	みやざきNPO 協働支援センター 会議室(宮崎駅敷地 KITENビル内(宮崎市錦町1-10))					
目 的	実務者に必要な景観に関する基礎的な知識の習得を図る。					
受講予定者	建設	○	法面	—	測量設計	○
	地質	—	造園	○	その他	(県・市町村職員)
予 定 人 員	15人					
主 催	宮崎県建設技術センター、(公財)宮崎県建設技術推進機構 共催：(一社)宮崎県測量設計業協会					

【時間割】

月日	曜日	時間	教科目	講師
9月5日	火	9:00~9:25	受付	
		9:40~9:45	開講式・オリエンテーション	
		9:45~10:35	風景のとらえ方	長崎大学 大学院工学研究科 准教授 石橋 知也 氏
		10:35~10:45	休憩	
		10:45~11:45	風景のつくり方	熊本大学 くまもと水循環・減災研究教育センター 外部協力研究員 増山 晃太 氏
		11:45~12:00	現地調査箇所の概要説明	都市計画課 街路・まちづくり担当 副主幹 村上 卓 氏
		12:00~13:00	休憩	
		13:00~14:20	現地調査	長崎大学 大学院工学研究科 准教授 石橋 知也 氏 熊本大学 くまもと水循環・減災研究教育センター 外部協力研究員 増山 晃太 氏
		14:20~14:30	休憩	
		14:30~15:20	グループディスカッション	
		15:20~15:30	休憩	宮崎大学 地域資源創生学部
		15:30~17:00	全体ディスカッション	尾野 薫 氏
		17:00~17:15	受講証交付	

【内容】

講義名	内容
風景のとらえ方	<ul style="list-style-type: none"> ○ 対象地の地形や歴史を景観として読み解くことの重要性について学ぶ。 <ul style="list-style-type: none"> ・地図の縮尺とスケール感に応じた風景の読み方 ・地形を風景として読む。 ○ 視点場を正しく理解する。
風景のつくり方	<ul style="list-style-type: none"> ○ 通常業務において、景観に配慮することの必要性について学ぶ。 ○ 現地調査において共有すべき内容(必要条件)について学ぶ。 ○ 景観に配慮した事例について、景観設計のアプローチを学ぶ。 ○ 公共工事における景観、視点場の捉え方について考える。
日向市駅周辺整備事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ○ 高千穂通り周辺で現地調査を行うにあたり、宮崎市中心市街地地区都市再生整備計画や道路空間の利活用に向けた社会実験等の概要を学ぶ。(説明)
現地調査	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各班(4~5名)で高千穂通り周辺をフィールドに現地調査を行う。 <ul style="list-style-type: none"> ・「居心地の良い歩きたくなる空間」を見つけるため、グループで「アミーロード→広島通り→若草通り→高千穂通り」の順に探索する。 ・講義を踏まえた現場での景観分析(批評)を行う。(写真も撮影)
グループディスカッション	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各班(4~5名)でグループ討議を行う。 <ul style="list-style-type: none"> ・現地調査を踏まえて、グループで「アミーロード→広島通り→若草通り→高千穂通り」の「歩きたくなる箇所」、「歩きたくない箇所」の整理を行い、その理由を分析する。
全体ディスカッション	<ul style="list-style-type: none"> ○ 全体ディスカッション <ul style="list-style-type: none"> ・グループディスカッションの結果について、現地調査の際に撮影した写真を交えながら、班ごとにプレゼンを行い、全体で議論する。